

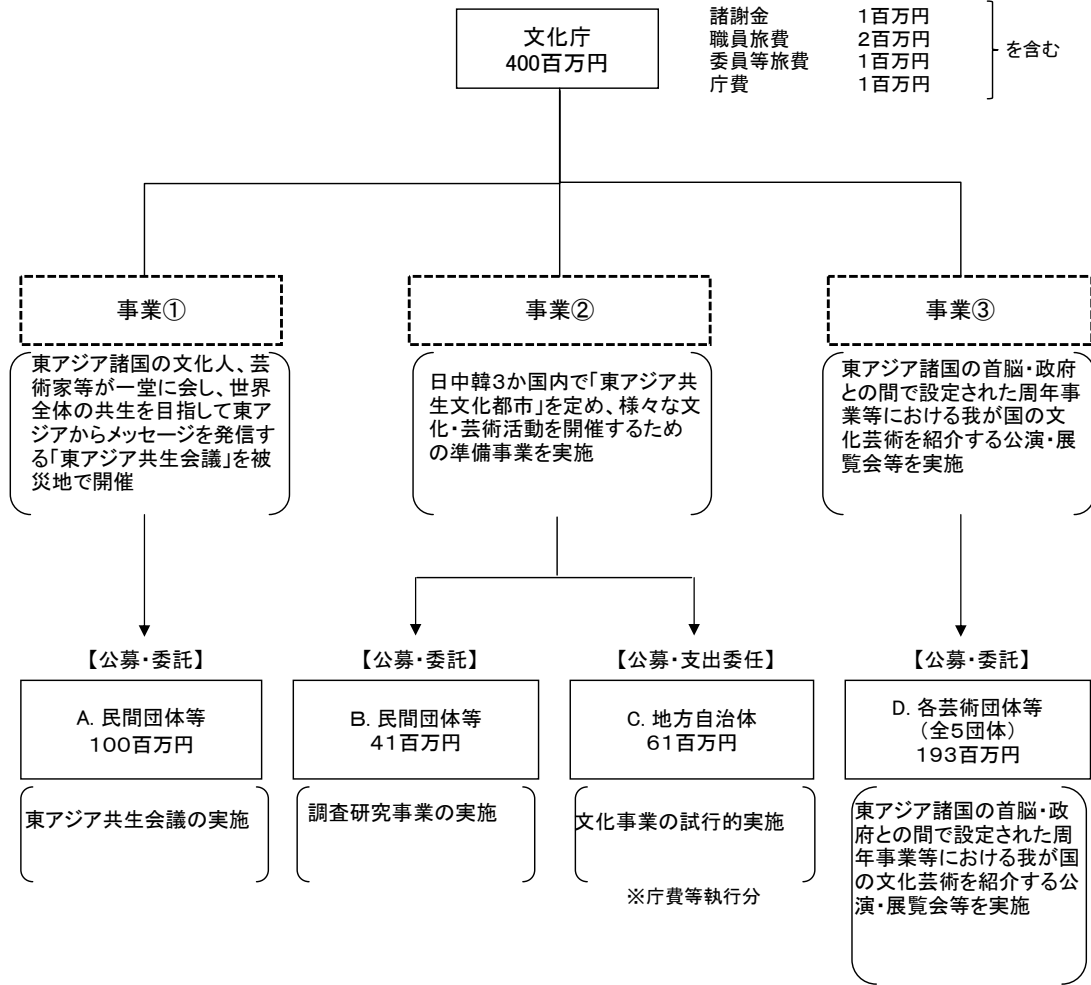
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	東アジア文化交流推進プロジェクト事業		担当部局	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	国際課		国際課長 佐藤 透		
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	今後の世界の成長の源泉であるとともに多くの課題を抱えている東アジア地域で、文化交流・人的交流を一層発展させ、将来に向かっての同地域の連帯感と文化的な共生と創造に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①「東アジア共生会議」の開催 東アジア諸国の文化人、芸術家等が一堂に会し、世界全体の共生を目指して東アジアからメッセージを発信する「東アジア共生会議」を被災地で開催する。 ②「東アジア共生文化都市」開催のための準備事業 日中韓3か国内で「東アジア共生文化都市」を定め、様々な文化・芸術活動を開催するための準備事業を実施する。 ア 「東アジア共生文化都市」を効果的に実施するための諸外国における先行事例の調査研究 イ 日中韓3か国をはじめとした東アジア各国関係の舞台芸術、大衆音楽等の公演、美術展等を試行的に実施 ③東アジア国際文化交流・協力推進事業 東アジア諸国の首脳・政府との間で設定された周年事業等における我が国の文化芸術を紹介する公演・展覧会等を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	400
		補正予算						
		繰越し等						
		計						400
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業は、東アジア地域で、文化交流・人的交流を一層発展させ、将来に向かっての同地域の連帯感と文化的な共生と創造に資することを目的としているが、当該目的は本事業を含めた具体的な協力の積み重ねを通じて達成されるものであり、成果がすぐに現れないことから、定量的な指標を設定することは困難である。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	事業① 参加国/参加人数 事業② 調査研究実施件数 /文化事業の試行的実施件数 事業③ 事業数		活動実績(当初見込み)	①国/人 ②件/件 ③件				※24年度の活動見込である ①(5/100) ②(1/1) ③(5)
単位当たりコスト			算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		1					
	職員旅費		2					
	委員等旅費		1					
	庁費		1					
	芸術祭等運営費		61					
	文化芸術振興委託費		334					
計		400						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・本事業は、今後の世界の成長の源泉であるとともに多くの課題を抱えている東アジア地域において文化交流・人的交流を一層発展させるものであり、閣議決定された文化芸術の振興に関する基本方針(第3次基本方針)の重点戦略のひとつに位置づけられているほか、「東アジア共生文化都市」については第3回日中韓文化大臣会合において日本国から日中韓三国間で重点的に進めるプロジェクトとして提案を行っており、文化庁として実施していく必要がある。</p> <p>・「東アジア共生会議」の事業案については、有識者による検討を踏まえた上で、既存の事業である「東アジア文化芸術会議」の事業内容について、現在の世界の情勢、東アジア地域の歴史・文化的背景を考慮した上で見直しを行い、実施にあたって社会中間層、次世代を担う若者、学生、芸術家等にメッセージが届くように留意するほか、単なる会議の開催にとどまらず東アジア各国の多様な文化芸術の展示・発表と融合的に実施するなど、より効果的な事業となるように改良したものである。「東アジア共生文化都市」開催のための準備事業については、前述の文化芸術の振興に関する基本方針(第3次基本方針)に基づき、「東アジア共生文化都市」を必要最低限の経費で効果的に実施するために必要な事業である。東アジア国際文化交流・協力推進事業については、我が国として重要度の高い国との国際文化交流事業を優先的かつ重点的に実施し、より効果的な事業展開を図るものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.民間団体等			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
文化芸術振興委託費	@100百万円×1団体	100			
計		100	計		0
B.民間団体等			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
文化芸術振興委託費	@41百万円×1団体	41			
計		41	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
芸術祭等運営費	@61百万円×1地方自治体	61			
計		61	計		0
D.各芸術団体等			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
文化芸術振興委託費	@50百万円×1団体	50			
文化芸術振興委託費	@50百万円×1団体	50			
文化芸術振興委託費	@32百万円×1団体	32			
文化芸術振興委託費	@31百万円×1団体	31			
文化芸術振興委託費	@30百万円×1団体	30			
計		193	計		0